



平成25年度 復興応援隊・地域支援員中間報告会 地区活動報告シート

①

市町・隊名：石巻市牡鹿地区復興応援隊

人数：5 人

【テーマ】

- ・地域の思いを具現化するまちづくり、住民復興プロジェクト「がんばってっちゃ牡鹿プロジェクト委員会」。
- ・金華山黄金山神社・網地島への観光客に対する受け入れ態勢のサポート。
- ・牡鹿半島のPR活動全般。

【主な活動】

がんばってっちゃ牡鹿プロジェクト委員会の全面サポート。定例会議の開催、議事録の作成・配信、各種申請書等の作成・申請・報告、イベントの主催・共催、月1回の「牡鹿ふるさと通信」の発行、蛤浜プロジェクト、古民家再生IBUKIプロジェクトのサポートなど。

また、観光マップの作成や、牡鹿半島内だけでなく他県での出店等で牡鹿半島をPR。



市町・隊名：石巻市牡鹿地区復興応援隊

【今年度前期、活動している中での3大ニュース】

①タイトル：牡鹿ふるさと通信の定期発行

今年から月1回、牡鹿の情報を掲載した「牡鹿ふるさと通信」を定期発行。イベントのお知らせや、「現在の牡鹿」をフルカラーで掲載。旧牡鹿町内の全戸配布(約1400)の他、石巻市内の観光協会・市役所等に配布。

②タイトル：鮎川港仮浮棧橋のオープン

ゴールデンウィークから運用開始。被災後、海上タクシー(12人乗り)しか運航できなかった金華山・網地島への離島航路の中型客船(72人乗り)が運航出来るようになり、休日の定期便が復活した。

③タイトル：おしかインフォメーションマップ「ござい〜ん」の発行

観光客向けに、牡鹿半島全域の飲食店・民宿などを網羅した観光マップを15000部発行した。掲載店舗、石巻市街地はもちろん、観光協会や仙台駅のインフォメーション等に配布し、観光客が手にできるようにしている。



市町・隊名：石巻市牡鹿地区復興応援隊

【未来の3大ニュース】 （今年度後半の活動でこうなっていたいと思うニュースを3つ書いて下さい）

①タイトル：鮎川浜移動型トレーラー休憩所の開設と運用

前述の鮎川港仮浮棧橋前に、7月末設置した。

基本的には渡船する方々の休憩所、観光協会によるインフォメーションセンターとして開設したが、地域住民にも幅広く運用してもらうため、企画検討中。

②タイトル：鮎川港まちづくり協議会のサポート

鮎川浜の商業・観光業の早期復興を目指し、事業再開希望者、行政と共に中心エリアのまちづくりをサポートする。

③タイトル：NPO法人の設立

現時点では、どのような形でNPO法人化するのか明確には決定していないが、牡鹿のPR、まちづくりに特化したNPO法人の設立を積極的に目指している。